

## 私の写生地

# 水辺の風景に魅せられて

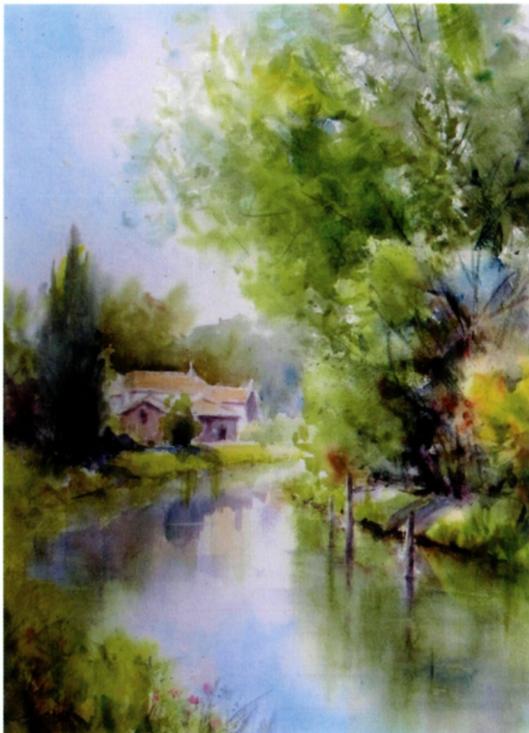
会員 山村 早苗

もともと旅行好きの私は、これま

で北は北海道から南は沖縄まで、数多く旅してきました。中でも水辺の風景が好きで、丹後半島の伊根や静岡の伊豆は何度もスケッチに訪れ、又中国では蘇州や杭州に旅し、大作

にも挑戦しました。

初めてヨーロッパを訪れたのは、30年程前でしたが、その魅力に取り憑かれ毎年訪れるようになりました。イタリア・オランダ・フランス・イギリス・スペイン・ベルギー



▲ 水彩「パリ郊外の川辺」

など最初はツアーに入り、気に入った場所があると、再び個人で出かけます。個人旅行の際には、一週間程度同じ場所に滞在し、バスや地下鉄を利用してあちこち巡ります。どこを取っても絵になる為、写生地に苦労したことはありません。特にベネチアやオランダ、ベルギーのブルージュは水辺の風景が大変美しく、大好きな場所です。

私は現地に油絵の道具は持って行かず、水彩で仕上げます。時間のない時はペンでサッと描き、色をつけます。そうする事で頭にインプットされ、後で写真を見た時に現場の風景がよみがえってきます。

10年程前にフランスのジヴェルニーにあるモネの家を訪れました。いつも画集で見っていたモネの池は大変美しく、どこを取っても絵になる構図で感心しました。モネの住んでいた家の中も見ることができました。たくさん絵や家具がそのまま展示され、家の周りには美しい花が咲き乱れています。

モネの庭園はパリから電車で約一時間、人口500人余りの小さな田舎の街ですが、毎年世界中から多くの人が訪れています。パトロンの破産などで困窮に見舞



◀ ペンスケッチ「ベネチア」



◀ 水彩「霧のロンドン」



▲ 油彩「朝のベネチア」



▲ 油彩「曙光 (しよこう)」

われた彼は、家族ですつと暮らせる場所を探していました。偶然電車で通ったこの街に心を惹かれて、定住を決めたそうです。

私も、緑に囲まれたジヴェルニーという街、そしてモネの庭園に強く心惹かれ、最近のテーマとしています。

コロナ禍の今、しばらく海外旅行はできそうも

ありませんが、高知県の北川村にある「モネの庭」マルモッタンはモネ財団から公式に認められている唯一の庭園です。ご興味のある方は一度訪れてみてはいかがでしょうか。



▲ 油彩「ジヴェルニー」